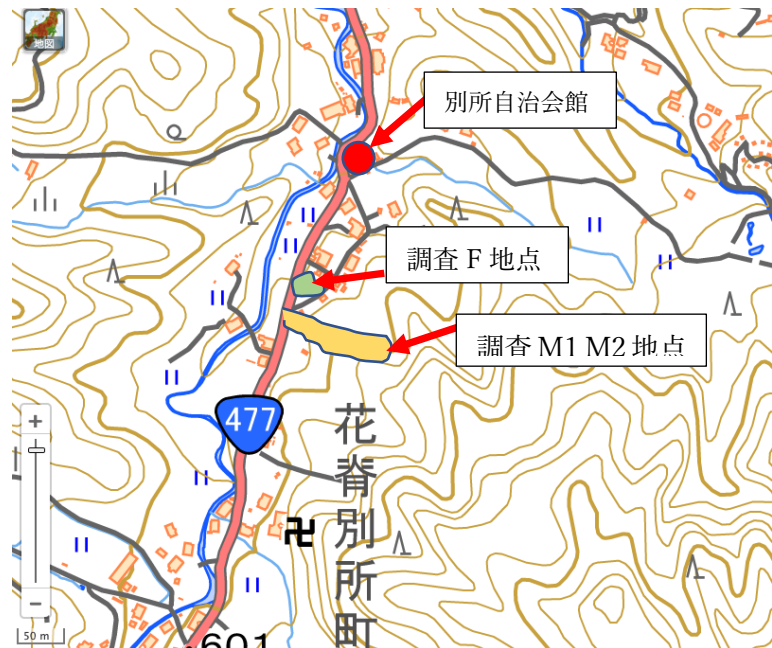


花背モニタリング(花脊別所 hanare 付近)2年間のまとめ

花脊別所のゲストハウス Hanare 付近の畑（周囲を鹿柵で覆っている）Fと後背にある林道(M1)と右側の谷(M2)を使ってのモニタリングを開始して約2年が経ちます。

初年度の開始は6月から始まり7・8・9・10・11の6回
昨年度はコロナ感染のあおりや積雪、土砂崩れ、降雨のため3・5・9・12の4回の調査になりました。幸い積雪期を除いて全季節を通じて調査が



来ました。昨年度調査において新たに草本、木本 144 種（イネ科は不十分、シダ、蘚苔類は除く）を追加確認しました。従って今までの確認総数は 262 種になっています。新たなもので目を引くものとしてはアカモノ、タニソバ、ミヤマタニソバ、タニタデ等が確認出来たことです。またネコノメソウのなかまで、再確認を要するものもあり、今春の課題になっています。

また昨年の特徴は定点の場所を離れて、花背原地や八栴山村都市交流の森などでも若干の調査をしました。今後定点意外にもエリアを広げ、花背の広い範囲での植生が確認出来ればと考えています。今回シダは除いていますが、幾つかの希少なシダも見つかっています。

コロナ禍もあって不規則な活動や地域の方の参加が見送られたりして、観察会などで成果を返せていないのが残念なところです。また今回は木本・草本別の種数や調査地点別の植生一覧が出来ていません。

3年目に入った今年は3月19日を第1回として継続していきたいと思えます。(清水)